

令和5年度第4回常滑市教育委員会定例会

令和5年7月20日(木)

午後1時30分

市役所1階 会議室G

1 開会 午後1時30分

2 前回定例会会議録の承認

「承認」

3 会議録署名者の指名

「久田孝寛委員」

4 出席委員

梶田幸司委員、渡辺慶太郎委員、久田孝寛委員、藤田幸恵委員、土方宗広教育長

5 欠席委員

なし

6 教育長の報告事項

それでは、教育長の報告事項につきまして、6月21日の定例会以降の教育委員会の主な動きをご報告いたします。

まず、学校訪問ですが、6月22日には鬼崎南小学校、30日には西浦北小学校、7月3日には常滑中学校の学校訪問を行いました。学校の教育方針や授業における教師や児童生徒の様子などを確認させていただき、現在の教育活動の評価や今後の教育活動へ向けての改善点などをお話しさせていただきました。委員の皆様にも訪問していただき、校長に対して適切な指導助言をしていただきました。

6月23日には、市議会協議会がありました。教育委員会に関連するものはございませんでした。

6月29日の午前には第1回図書館協議会を開催いたしました。昨年度の事業報告と今年度の事業計画案が主な議題でしたが、委員の皆様からより有効的な図書館活用についての質問、さらには前向きなご意見をいただきました。

6月29日の午後には、外部評価員として、名古屋大学の河野明日香准教授と常滑中学校の前校長、佐々木令先生にお越しいただき、「教育委員会点検及び評価に関する会議」を開催しました。お二人の外部評価員からは、例年以上に厳しい視点で昨年度行った各種事業について評価していただき、今後の方向性についてご指導していただきました。

7月4日には、江南市で尾張部都市教育長会議に出席しました。尾張部都市教育長会議では県教委の事務局長および各課担当者から、「2025年度実施予定の県立高等学校への併設型中高一貫教育制度の入学者選抜方法や教職員の配置について」、「ラーケーションの実施について」「部活動の地域移行について」「今年度の公立高校入試

の Web 出願について」「来年度の教員採用試験実施日の前倒しについて」などの説明がありました。

8日には、広島平和学習事前説明会を行いました。参加予定の31世帯の保護者・児童に詳細に説明をさせていただきました。引率者は三和小の岩月校長、林校務主任、常滑西小の近藤養護教諭、学校教育課の佐竹主任、そして私の5名です。

10日には、吹奏楽の地域移行の打合せ会がありました。サッカー、剣道同様、様々な課題はありますが、9月試行開始へ向けて準備を進めているところでございます。最前線で調整にあたっている担当者の皆さんに感謝するばかりです。

13日には、定例の校長会議を開催しました。様々なことが議題になり、話し合いましたが、その一つにラーケーションがありました。話し合いの結果、常滑市は8・9月をラーケーションについての周知期間とし、10月より3月まで試行開始することとしました。

最後に、本日20日は、園・学校の終業式でした。この1学期、新型コロナ等の感染症になった教職員が少なくなく、多くの学校で教務主任や校務主任、さらには教頭が学級担任の代役を務めるなど、自転車操業の状態となる期間がありましたが、何とか終業式を迎えられました。大変うれしく思っております。教職員の皆様には、この夏休みに休暇を多くとり心身ともにリフレッシュをしていただき、園・学校の子どもたちには、楽しい思い出がたくさんできる充実した夏休みを送ってほしいと願うばかりです。

報告は以上でございます。

本日の定例会は、2つの議案が予定されております。

どうぞ、よろしく願いいたします。

7 議題 付議事件

議案第1号 令和6年度使用小中学校教科用図書の採択について

教育長：本日の一つ目の議事は、令和6年度使用教科用図書の採択に関するものですが、

「選定を要しない 中学校教科用図書の採択」

「新規選定を要する小学校教科用図書の採択」

の2点に分けて議事を進めた後、採決という流れで進めてまいります。ご了承ください。

それでは、議案第1号「令和6年度使用小・中学校教科用図書の採択について」説明をお願いします。

学校教育課付主幹：この提案は『義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律』第13条第4項・第5項及び第14条の規定に基づき、小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択を求めるものであります。

まず、「令和6年度使用 中学校教科用図書の採択について」、別紙様式1-2のとおり、知多教科用図書採択地区協議会から依頼がありました。

中学校教科用図書については『義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令』第15条に則り、令和5年度と同一の教科用図書を採択することとなっております。知多教科用図書採択地区協議会においても、令和5年度と同一の教科用図書を承認するよう求めています。常滑市教育委員会におきましても、令和5年度と同一の教科用図書を採択することを承認していただきたいと思えます。

教育長： ありがとうございます。先ほどの説明は、知多地区が共同採択であることから、5市5町の教育長と、学識経験者・保護者・校長・教頭・教員の代表が委員を務める、知多教科用図書採択地区協議会において協議され、承認されたものであります。

それでは、この件について、何かご質問等はございますでしょうか。

委員全員：ありません。

教育長：続きまして、「令和6年度使用 小学校教科用図書の採択について」の審議を行います。説明をお願いします。

学校教育課付主幹：令和6年度使用小学校教科用図書の採択について、別紙様式1-3のとおり知多教科用図書採択地区協議会から依頼がありました。

小学校教科用図書については、今年度が教科用図書の選定年度に当たります。教科用図書の選定理由が知多教科用図書採択地区協議会より届いておりますので報告いたします。なお、教科用図書の発行者について株式会社は省略させていただきます。

国語の教科用図書は、3社から発行されています。

「教育出版」は、指導内容がバランスよく配列され、学力向上を図った指導ができるように構成されているという意見や「東京書籍」は、「言葉の力」の獲得を目指し、一年間の学習の系統性が示してあるといった意見がありましたが、選定されたのは、「光村図書出版」の「国語」です。

この教科用図書は、巻頭の「国語の学びを見わたそう」で、学習の進め方が視覚化されていること、各単元に設けられた「これまでの学習」が発達段階に応じ、習得・活用を繰り返しながら学習ができるように配慮されていること、共生や未来を切り開くことをテーマにした作品や、世界を広げたり物事の本質を見つめたりすることのできる作品がバランスよく配置されていることなどが主な理由として出されました。

書写の教科用図書は、3社から発行されています。

どの教科書会社も、発達段階に合わせて、基礎・基本を着実に習得できるように配慮されていること、写真やイラストを使って図示するなど、わかりやす

く示されていることが意見として挙げられました。

その中で、選定されたのは、「教育出版」の「小学書写」です。

この教科用図書は、「ためし書き」と「まとめ書き」の欄が設けられており、学習の成果を確認し、振り返りへつなげられるよう工夫されていること、すべての学年で、カードや手紙を書く活動が取り入れられており、伝えることの楽しさ、大切さを感じられるよう工夫されていることなどが主な理由として出されました。

社会の教科用図書は、3社から発行されています。

学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」のポイントを意識して、どの教科書会社も構成を工夫しているという意見がありました。「教育出版」は、防災や政治に関わる内容が各学年に位置付けられているという意見や、「東京書籍」は、SDGsや主権者教育、防災・安全教育、世界とのつながりなど、今日的課題に関する内容を取り上げているといった意見がありましたが、選定されたのは、「日本文教出版」の「小学社会」です。

この教科用図書は、学習問題を追究・解決する活動の充実が図られていること、「学習内容（知識）」「学習活動（技能）」「友だちの発言（思考力・判断力・表現力等）」の3つに分けられ、学習内容や学習方法がわかりやすい構成となっていることなどが主な理由として出されました。

地図の教科用図書は、2社から発行されています。

「東京書籍」は、地図帳の導入ページが設けられており、3年生が地図学習に入りやすい構成になっているという意見がありましたが、選定されたのは、「帝国書院」の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」です。

この教科用図書は、国内外の様子がわかる写真や資料が豊富に掲載され、親しみやすいイラスト、模式図、国旗などの資料も適切に表記されていること、統計資料の主なものについて帯グラフを掲載することで、他の製品や各地域との比較・関連について考えることができるようになっていることなどが主な理由として出されました。

算数の教科用図書は、6社から発行されています。

どの教科書会社も、フォントや配色に配慮が見られ、すべての児童が支障なく学習できるつくりになっているという意見や、多くの教科用図書で、幼保小や中学校への接続を意識しているという意見がありましたが、選定されたのは、「新興出版社啓林館」の「わくわく算数」です。

この教科用図書は、低学年児童の興味の持続性を考慮し、同一領域の内容が何単元も連続しないように配慮されていること、予習・復習に使いやすいように「めあて」や「まとめ」、考え方のヒントが毎時間の内容の中に記載されていて使いやすいことなどが主な理由として出されました。

理科の教科用図書は、5社から発行されています。

どの教科書会社も問題解決を通して、科学的な見方や考え方を育もうとしているという意見や、安全面への配慮として、マークや赤文字など、目立つように強調されているという意見がありましたが、選定されたのは、「教育出版」の「未来をひらく小学理科」です。

この教科用図書は、日常生活や不思議を感じさせるものなどから児童が問題を見出し、主体的に取り組めるような構成となっていること、関連する学習の「資料」や科学読み物「科学のまど」を問題解決後に活用することで、学びを広げられるようになっていることなどが主な理由として出されました。

生活の教科用図書は、6社から発行されています。

どの教科書会社も低学年の児童にとって親しみやすく、取り組みやすい内容にしているという意見や道具の使い方、図鑑などの資料が掲載され、生活で必要なことを楽しく学べるようになっているという意見がありましたが、選定されたのは、「学校図書」の「みんなと学ぶ小学校生活上・下」です。

この教科用図書は、児童の自己決定の場や対話的な学びの場面を大切にしていること、キャラクターを中心としたストーリーが展開され、わかりやすいこと、花や野菜、生き物などの写真や活動方法が多く掲載されていて、授業での活用がしやすいことなどが主な理由として出されました。

音楽の教科用図書は、2社から発行されています。

「教育芸術社」は、『みんなで楽しく♪』に掲載されている楽曲が豊富で教材や学習活動の分量を弾力的に増減できるように配慮されているという意見がありましたが、選定されたのは、「教育出版」の「音楽のおくりもの」です。

この教科用図書では、児童の実態に合わせたカリキュラムを作成できるように配慮されていること、全学年に掲載されている、音楽づくり『音のスケッチ』により、他者と協働しながら思考、判断、表現する過程を大切にしている学習ができることなどが主な理由として出されました。

図工の教科用図書は、2社から発行されています。

「開隆堂」は、鑑賞に関してQRコードを読み取ることで、学習内容を動画で知ったり参考作品を360度回転させて鑑賞したりすることができるなど、発想や構想の手助けとなるような工夫がされているという意見がありましたが、選定されたのは、「日本文教出版」の「たのしいな、おもしろいな」です。

この教科用図書は、児童の思いと工夫にあふれた作品が多く掲載されており、活動の参考となること、各巻末にアートカードのコーナーがあり、対話しながら鑑賞する方法を発達段階に応じて紹介することで、鑑賞の方法を知ることができることなどが主な理由として出されました。

家庭科の教科用図書は、2社から発行されています。

「開隆堂」は、フォトランゲージの手法を用いることで、児童が家庭生活を想起し、興味・関心をもって取り組むことができるように工夫されているという意見がありましたが、選定されたのは、「東京書籍」の「新しい家庭」です。

この教科用図書は、目次や注、凡例、諸表等がわかりやすく表記されていることや、本文との区別がつきやすい『資料』が複数あることで、利用しやすいつくりになっていること、料理や製作した作品の写真、イラストが示されており、児童が生活経験を想起しやすいように配慮されていることなどが主な理由として出されました。

保健の教科用図書は、6社から発行されています。

「東京書籍」は、写真やイラスト、デジタルコンテンツがバランスよく配置されているという意見や「学研」は、他学年や他教科、運動領域との関連、家庭や地域とのつながりを示すことで、実生活と関連付けて学習できるという意見、「大修館書店」と「文教社」は、キャラクターの対話や吹き出しによって、分かりやすく構成されているという意見、「光文書院」は、日常の場面がストーリー形式で提示され、共感しやすい内容であるという意見など、さまざまな意見が出ましたが、選定されたのは、「大日本図書」の「たのしい保健」です。

この教科用図書は、単元の導入に学習ゲームを取り入れるなど、楽しみながら学習課題をつかみ、主体的に学習に取り組むことができる構成になっていること、愛知県に関わる写真が多く掲載されており、児童は親しみやすさを感じられること、個に応じて学習内容を深めることができるように読み物や資料が提示されており、折り込みページを活用して、これから学ぶことを隠すことによって、身近な経験から課題を発見し、経験や生活に適応した内容に触れるという細かな配慮が感じられることなどが主な理由として出されました。

外国語の教科用図書は、6社から発行されています。

どの教科書会社も外国語活動や中学校とのつながりや各授業で「めあて」をしっかりと伝えることに配慮しているという意見が出ました。その中で選定されたのは、「東京書籍」の「NEW HORIZON Elementary English Course」です。

この教科用図書は、中学校を見据えてテーマの広がり強く感じられること、5年生で文字指導、6年生で各単元の言語材料を書く構成になっており、書く活動を意識した中学校との円滑な接続に向けた工夫が随所に見られること、別冊の紙面内容だけでなく、デジタル面も充実していることなどが主な理由として出されました。

道徳の教科用図書は、6社から発行されています。

どの教科書会社もいじめ問題や生命の尊重を重点課題として扱っているということに加え、情報モラルや SDGs といった現代的な課題を扱う教材も配置されているため、バランスを見ていく必要があるという意見が出ました。その中で選定されたのは、「教育出版」の「小学道徳 はばたこう明日へ」です。

教材は、全ての内容項目を押さえた教材が 30 本と補助教材 5 本で構成されており、地域教材や自作教材との併用も可能となっていること、6 年生で藤井聡太さんや杉原千畝さんなど、愛知にゆかりのある人物を取り上げていることや 4 年生で、池江璃花子さんなどの、現役で活躍するアスリートなどを取り上げていることも、児童の興味関心を高めることにつながっていることなどが主な理由として出されました。

知多教科用図書採択地区協議会では研究と採択を進め、7 月 13 日に採択地区協議会として、以上のように選定いたしました。「知多採択地区での共同採択」という趣旨を踏まえ、同一の教科用図書を承認するよう求めています。ご審議ご承認いただきますようお願いいたします。

教育長：それでは、質疑を行います。何かご質問ございませんか。

委員：知多教科用図書採択地区協議会は、どのような流れで進められたのですか。

学校教育課付主幹：知多全域から各教科の専門教員に研究員を委嘱して教科用図書の調査・研究を進め、作成した資料を、知多教科用図書採択地区協議会委員の方に参考にしていただきました。委員の皆様からは、先ほどお伝えしたように、各教科の教科用図書について、教科ごとにご意見をいただくことで、慎重に教科用図書選定を進めてまいりました。

委員：知多教科用図書採択地区協議会委員の皆さんは、どういったことを大切に、選定にあたっていましたか。

学校教育課付主幹：各教科、それぞれの教科書会社の教科用図書の特徴を基に、分かりやすさや使いやすさを考慮しての意見が多く出されました。学年に応じたイラストや写真、キャラクターなどの活用についても採択にあたって、判断材料の一つとなっていました。

委員：前回の知多教科用図書採択地区協議会で採択された教科書会社の教科用図書が採択されていますが、採択にあたり、迷った部分はありましたか。

学校教育課付主幹：教科によっては、複数の教科書会社について、それぞれのよさが多く出され、意見が分かれることもありました。最終的には、採択された教科書会社の教科用図書のよさがより多く出される形で、意見が絞られていきました。小中連携の意識や児童にとっての親しみやすさ、という視点も決め手の一つになっていました。

委員：電子黒板やタブレットの活用が進められる中で、デジタル教科書も普及していると思いますが知多教科用図書採択地区協議会では、話題になりま

したか。

学校教育課付主幹：外国語（英語）は、児童用のデジタル教科書が全校に配付されていることもあり、その使い方について話題にあがりました。授業の中での活用につながるという点で、音声機能や別冊資料との関連などの充実度について意見が出ました。

教育長：他に何かご質問等がございますでしょうか。

委員全員：ありません。

教育長：それでは、採決に入ります。原案のとおり採択することによろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

議案第2号 常滑市スポーツ推進委員の委嘱について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますか。

委員全員：異議なし。

「可決」

8 その他（諸報告について）

- ・教育委員（会）行事連絡（7月～9月）

学校教育課長より資料に基づき説明。

「了承」

- ・ラーケーションの実施について

学校教育課長より資料に基づき説明。

「了承」

- ・部活動地域移行について

生涯学習スポーツ課長より資料に基づき説明

「了承」

9 閉会

午後2時36分